

第 12 回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会

－ 災害・感染症の予防と危機管理 －

国際予防医学リスクマネジメント学会講演会

「医療機関の災害安全対策 2014」

－ 大災害と感染症に対する医療機関インフラのあり方 －

抄録・資料

2014 年 3 月 8 日(土)

東京大学医学部 2 号館 3 階・大講堂

2014 年 3 月 9 日(日)

東京大学伊藤国際学術研究センター地下 2 階・謝恩ホール

主 催: 日本予防医学リスクマネジメント学会

共催: 国際予防医学リスクマネジメント学会

担当事務局

日本予防医学リスクマネジメント学会本部

国際予防医学リスクマネジメント学会本部

〒 113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) admin@jsrmpm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(参加者への注意)

対象者: 日本予防医学リスクマネジメント学会の学会員、
国際医療リスクマネジメント学会の学会員
その他

受付開始 3月8日午前8時
3月9日午前8時15分

テキストならびに領収書は会場受付でお渡しします。

3月9日は国際予防医学リスクマネジメント学会の講演会「医療機関の災害安全対策2014 -大災害と感染症に対する医療機関インフラのあり方-」と合同開催となります。

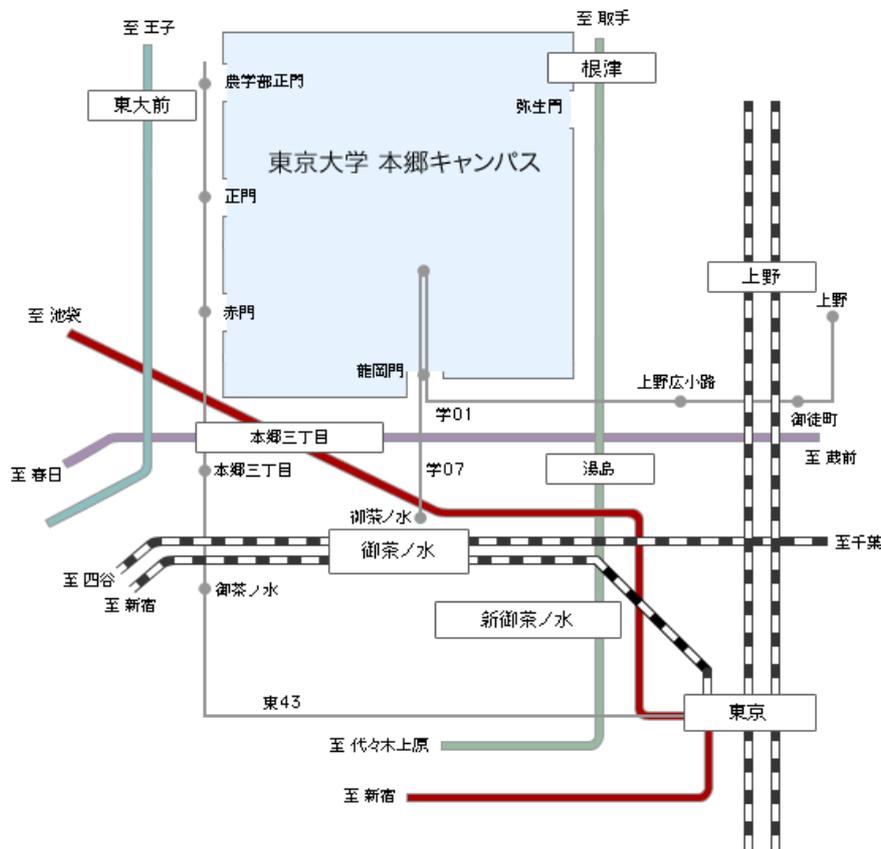
懇親会: 2014年3月8日午後6時30分～8時30分、ホテルフォレスト本郷レストラン

学会参加費

(3月8日～9日) 日本予防医学リスクマネジメント学会の学会員: 7千円
その他: 9千円
(3月9日) 国際医療リスクマネジメント学会の会員: 5千円。
医療施設の従事者: 6千円
その他: 1万5千円

懇親会参加費 6千円

交通案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8 分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1 分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10 分

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

TEL 03-3812-2111(代表)

2014年3月8日(土)



2014年3月9日(日) 東京大学伊藤国際学術研究センター



飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

プログラム

第12回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会

テーマ: 災害・感染症の予防と危機管理

2014年3月8日(土)午前9時～午後5時30分

東京大学医学部2号館本館大講堂
東京都文京区本郷7-9-1

受付開始 午前8時

午前9時～午前9時10分 開会
酒井 亮二 (第12回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会会長
日本医療安全学会理事長、国際医療リスクマネジメント学会理事長)

午前9時10分～午前9時40分 特別講演
災害医療コーディネーターの役割
宮野 収 (東京都福祉保健局医療政策部災害医療担当課長)

午前9時40分～午前10時20分 特別講演
医療現場の救急対応、医療従事者向けの災害対応などにおける各種シミュレーション教育について —— 機構の4年間の歩み、現状と問題点
田中 圭 (NPO法人医療危機管理支援機構理事長)

午前10時20分～午前10時50分 特別講演
「こころのリスク外来」の活動概要
小池 進介 (東大病院精神医学教室)

午前11時～午前11時50分 特別講演
リスクガバナンス研究に関する海外の動向
—— 新規リスクの早期発見と警告、リスク俯瞰と優先順位付けを中心として
岸本 充生 (産業技術総合研究所安全科学研究部門、東京大学公共政策大学院客員教授)

午前11時50分～午前12時 次期会長講演
中谷 久恵 (広島大学医歯薬保健学研究院地域・在宅看護開発学教授)

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後1時50分 特別講演

災害医療体制のあり方に関する検討会(厚労省)の最新動向

厚労省検討会座長 大友 康裕 (東京医科歯科大学救急災害医学教授)

午後1時50分～午後3時20分 特別講演

大災害の被災者に対する心のケアのあり方

荒木 登茂子 (九州大学医学部医療コミュニケーション学前教授)

午後3時20分～午後5時30分 シンポジウム

「健康リスクに関するリスク教育の現状と課題」

(概要) 地域と職場では様々な健康リスクが存在する。しかし、日本でのそれらの健康リスクの認知は極めて不十分かつ不正確な現状にある。健康リスクを社会に向けてリスク教育する際の課題について討議します。

座長 大久保 靖司 (東京大学環境安全本部教授)

一講演 30分

化学物質の健康リスク教育

大久保 靖司 (東京大学環境安全本部教授)

事故リスクのリスク教育 - 法医学の立場から

藤田 眞幸 (慶應義塾大学医学部法医学教授)

放射線の健康リスク教育

樺田 尚樹 (国立保健医療科学院生活環境研究部部長)

健康リスクの教育のあり方

松井 史郎 (福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター広報コミュニケーション部門長特命教授)

総合討論 20分

理事会 午後6時～6時30分

懇親会 午後6時30分～8時30分、フォーレスト本郷 レストラン

医療機関の災害安全対策 2014

テーマ: 大災害と感染症に対する医療機関インフラのあり方

2014年3月9日(日)午前9時15分～午後5時

東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階ホール
東京都文京区本郷7-9-1

主催: 国際医療リスクマネジメント学会 (IARMM)
共催: 第12回日本予防医学リスクマネジメント学会 (JSRMPM)学術総会

午前8時15分 入場開始
午前9時15分 開会

午前9時20分～午前10時10分 特別講演
大規模災害に対する医療提供体制のあり方 (厚生労働省)
－医療班派遣・災害拠点病院・業務継続計画を中心に－
長谷川 学 (厚労省医政局指導課長補佐)

午前10時10分～午前10時20分 休憩

午前10時20分～午前11時 特別講演
東日本大震災における災害医療の取り組み
久志本 成樹 (東北大学病院救急医学講座教授)

午前11時～午前11時10分 休憩

午前11時10分～午前12時 教育講演
原子力災害に対する地域医療機関の備えのあり方
前川 和彦 (財団法人原子力安全研究協会理事、東大名誉教授(救急医療)、
つる虎の門病院院長)

午前12時～午後1時 昼食
(午前12時から12時30分: 東日本震災被災者追悼のためのバイオリンライブ演奏
－濱田 明衣、オーストリアグラーツ音楽院)

午後1時～午後2時20分 シンポジウム
「大規模災害に対する病院インフラのあり方」
なお、本プログラムは第12回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会の1部です。

座長: 中尾 博之 (東大病院)

午後1時～午後1時40分 東日本大震災の経験を踏まえて
後藤 孝浩 (石巻赤十字病院事務部管財課課長)

午後1時40分～午後2時10分 東大病院災害医療マネジメント部の新しい活動
中尾 博之 (東大病院災害医療マネジメント部部長)

午後2時10分～午後2時30分 総合討論

午後2時30分～午後2時40分 休憩

午後2時40分～午後5時 シンポジウム

「新型インフルエンザに対する医療機関の新たな備え」

司会: 岩田敏 (慶應義塾大学医学部感染症学・感染制御センター教授、日本感染症学会理事長、JSRMPM 副理事長)

(概要) 新型インフルエンザの新たな世界的流行が危惧される折、2013年に日本では新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行され、新型インフルエンザ等政府行動が求められています。それらを踏まえて、新型インフルエンザに対する医療機関の備えについて、専門家の先生方から解説していただき検討したいと思います。なお、本プログラムは第12回日本予防医学リスクマネジメント学術総会の1部です。

一人30分

新型インフルエンザ - 最近の動向と診察上の問題点および対策

菅谷憲夫 (けいゆう病院小児科)

新型インフルエンザ対策 - 地域における連携の在り方

賀来満夫 (東北大学病院感染制御・検査診断学分野教授)

アウトブレイクへの対応の実際

加來浩器 (防衛医学研究センター 感染症疫学対策研究官 教授)

新型インフルエンザ等特別措置法を踏まえた行動計画について

廣澤友也 (厚生労働省健康局新型インフルエンザ対策推進室)

総合討論 20分

午後5時 全体閉会